

津波からの避難



あなたは、
生き延びられますか

①



②



③



④



⑤

- ①避難所となった連沼スポーツプラザへ避難する市民
- ②市役所内に災害対策本部を設置
- ③車での避難者へ対応する職員（成東東中学校）
- ④津波避難ビルがわかる看板を設置（連沼）
- ⑤避難者名簿を作成し、避難者を把握（連沼スポーツプラザ）

千葉県房総沖を震源とする大規模な地震が発生。九十九里・外房地域に大津波警報が発令され、地震発生から40分後に高さ10mの大津波が襲来する想定の大津波避難訓練が3月11日に行われた。

成東海岸地区、蓮沼全域を対象に行われた訓練は、情報伝達訓練、津波避難訓練、避難所訓練などが行われ、2,138人が参加。

昨年の東日本大震災の津波被害を忘れることなく、市民が津波からの避難を本気で考え行動できただろうか。市が設定した津波避難訓練だから参加するのか。仕事だからやるのか。緊張感があっただろうか。

山武市民は、職員は、あの東北での出来事、津波が迫ってくる様子を目の当たりにしたはずだ。規模は違うにしても私たちは経験した。

やらされているのではなく、自分たちができることは、市ができることは、何かを真剣に議論し行動に移し始めなければ。自分の命、家族の命は、自分たち自身で守らなければならない。



これからどうする

避難経路、避難場所、連絡体制など、この避難訓練で確認できましたか。今回の訓練で、家族の中でもいろいろな課題が見つかったのではないのでしょうか。

防災訓練は、一人ひとりの防災意識を高めるためのものです。訓練をすると様々な課題が出てきますが、そこを改善するよう訓練を続けることが重要です。この訓練の教訓を活かし、次の訓練につなげていくことが、被害を最小限に防ぐことにもつながります。常に防災意識を持ち続けましょう。

- ⑥ 家族や近所の方と一緒に避難所へ向かう (鳴浜小学校)
- ⑦ 職員の説明に耳を傾ける (蓮沼スポーツプラザ)
- ⑧ ペットと一緒に避難 (蓮沼スポーツプラザ)
- ⑨ 真剣に消防署員の説明を聞き、応急救護訓練に参加 (蓮沼スポーツプラザ)
- ⑩ 社会福祉協議会による炊き出し訓練 (蓮沼スポーツプラザ)
- ⑪ 炊き出しのカレーを食べる (蓮沼スポーツプラザ)
- ⑫ 津波避難ビルに避難する市民 (蓮沼 ホテルサンクチュアリ)



高めよう、防災の意識

道路は寸断し、停電で信号機は機能せず…。普段は当たり前なのが停止してしまう大震災。

災害時は、自分の身は自分で守ることが第一です。もし、災害が発生したら、まずは落ち着いて自分の身を守ることを優先してください。次に周りの人と力を合わせましょう。

普段から備えておくことで、いざという時も落ち着いて行動できるはずです。

- 避難場所や複数の避難ルートを確認していますか
- 日頃から、家庭内で防災会議を開き、災害時の連絡方法などを話し合っていますか
- 子どもやお年寄りがいる場合、誰が援護するか決めていますか
- 万が一のとき、隣近所と助け合う協力体制は出来ていますか
- 非常用の持ち出し品の準備はしていますか

非常持ち出し品

- 非常食・飲料水
- 貴重品 (現金、印鑑、保険証など)
- 救急医療用品 (持病薬など)
- 懐中電灯・予備電池
- 情報収集ツール (携帯ラジオ、携帯電話・充電器など)
- その他 (タオル・ライター・ウェットティッシュ・ビニールシート・ヘルメット・防災頭巾など)